

NPO高砂海文化21Cの活動概要
(外面)

このリーフレットに設立趣旨並びに活動状況を表記しています。

海文化の活動では、2艇のヨットで松右衛門帆の北前船航路を辿り寄港地で得た日本遺産の動きを高砂市長へ伝達し申請のきっかけ作りをしました。

海域の環境保全・安全に関することでは、環境省の推進するプラスチック・スマート・フォーラムのメンバーになり、海洋プラスチック問題を堀川運河をグリーンデとした月例行事を通じて回収体験を開催しています。又兵庫県のプラスチックごみゼロアクション宣言のメンバーにも参加して、引き続き堀川運河のプラごみ回収に取り組んでいます。

海上保安部の安全指導員活動の一環として加古川保安署所属の巡視艇を堀川へ案内、市民との交流を図っています。

海の文化活動への取り組み
松右衛門帆・北前船航路を辿る

高砂から小樽へ松右衛門帆・北前船航路を辿る航海に挑戦しました。日本海と瀬戸内海の港町を訪ねて、松右衛門帆の資料収集や北前船寄港地高砂の地名を探す傍、地元の役所や郷土資料館、博物館を訪ね得た北前船の日本遺産登録の情報等を高砂市長へ報告しました。時折、5mを越える波にもまれながらの88日間、4800kmの航海では寄港地での人々との出会いや海の文化に触れ、改めて松右衛門帆・北前船の認識を深める旅となりました。

航海日誌: <http://kurenai-y.blogspot.com>

海域の環境保全・安全に関する
事業推進

環境保全事業に関しては、私たちは環境省の推進する、プラスチック・スマートフォーラムに参加しています。国連の推進の持続可能な開発目標 (SDGs) の #14海の豊かさを守ろうと環境省推進のプラスチックによる海の汚染問題に対して堀川運河のプラスチックごみ回収など身近に出来ることを子どもたちと一緒に取り組みます。



安全事業に関しては、行事参加の方々へ体験乗船前の安全教育を海上保安庁指定海上安全指導員が行います。また第5管区海上保安本部指定の安全パトロール艇が当該海域での安全推進活動を行っています。



堀川運河倶楽部
遊覧行事案内QR

T676-0041 兵庫県高砂市高砂町今津町533-1
一般財団法人 高砂市観光交流ビューロー内
phone : 079-490-4790 fax : 079-490-4798
e-mail : kurakuketuraku@takasago-tsvb.com

Nov.2021-3000

NPO法人 高砂海文化21C

特定非営利活動法人高砂海文化21Cは、瀬戸内海域の一般市民に対して、マリンスポーツや海の文化の普及・振興の事業を行い、港湾利用者には、海域の環境保全・安全に関する事業を推進します。全ての市民の大切な資源である瀬戸内海において、活力ある町作りに寄与いたします。



2008年7月兵庫県知事認可

npo takasago umibunka 21c



<http://takasago-umibunka21c.moon.bbindoud.jp>

同リーフレット（内面）

マリンスポーツの普及・振興事業では、親水性をより高めるために、向島公園を利用した夏季の小学生のディンギー教室を開催しています。（現在ゲレンデの関係で中断）

秋のたかさご万灯祭の記念ヨットレースでは地元県立高校3校の生徒にヨットレース参加を促し、それぞれ役割を持ちレースに関わっています。

親子セーリング体験教室の開催では、海と運河の環境、郷土の歴史、セーリング体験を専門団体と組み、小学生を対象としたトリニティー校外学習と称して開催しています。

その中、セーリング学習では北前船の帆走理論は今のヨットと同じであること、学ぶ町の地勢や地理を海からみて知ることに加えてまして高砂の海岸線にある工場群では世界の一流品が製造されていることと、これは工業松右衛門のもの作りに通ずるなど説明、誇りを持って、話かけます。

このリーフレットはヨット教室テキストも併用しています。

マリンスポーツの普及・振興事業

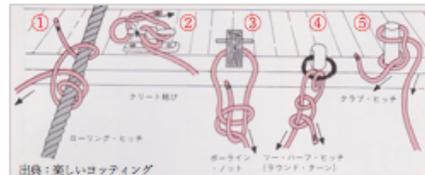
その昔、高砂は港町として栄えました。堀川運河は榎木に囲まれた静かな船溜りとしてその繁栄を支えました。その運河と播磨灘でヨットを利用した親水性を高める事業を推進しています。行政、高砂市観光交流ビューロー、高砂商工会議所、高砂地区まちづくり協議会、ルネサンスみなど町高砂等、諸団体の協力を得ながら活動の幅を更に広げています。

小学生の夏のディンギー教室



小学生達が夏休みに向島公園で世界標準のOPディンギーの操船を学びます。海面で自から、風の向きをよみ、風を掴んでのセーリングを練習。ヨットの操船は自転車に乗る技と似て、乗り方を一度覚えると忘れることはありません。高砂にはセーリング経験した子どもが多くいます。

ヨット教室テキスト part1
ヨットで使うロープの結び方

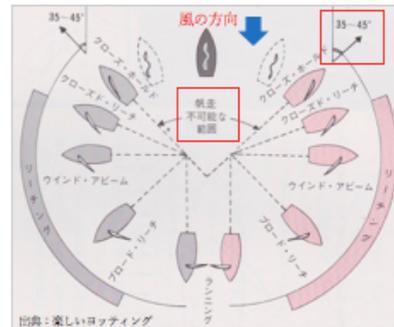


高校生の万灯祭播磨灘ヨットレース参戦



高砂にある県立高校生徒が文武両道チームでヨットレースを盛り上げています。松陽高校はレースのクルーで参戦、高砂南高校書道部は表彰式会場横断幕を揮毫し、高砂高校放送部はレース表彰式の司会進行を担当します。かこ（水主）の末裔達は、ヨットレースを通じてチームワークの大切さを学んでいます。

ヨット教室テキスト part2
ヨットが帆走出来る範囲



播磨灘の風でセーリング体験



子どもと大人が集い、播磨灘の風でセーリング体験をする。堀川運河を抜けた海から住む街をみながら、運河は世界に通じていると感じる人もいます。夫々、貴重な体験をされます。

ヨット教室テキスト part3
昔の帆船とヨットの帆走性能

